

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
6年

「食べる」活動が思いとのズレを生む

食べちゃダメダメ！？

～食の安全と私たちの生活～

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要
と
単元構成

近年、ライフスタイルの多様化などで、食を大切にする心や優れた食文化が失われつつあるといわれています。栄養バランスを考えた規則正しい食事といった健全な食生活を取り戻すため、「食」を自分なりに判断し「自己管理能力」を身に付けることができることを願って実践しました。

自分たちが考えた給食のメニューを、栄養士にみてもらいました。専門家からの情報は子どもの心に響きました。

学習活動の流れ（30時間）

バイキング給食のメニューを考えよう！（3）

- ・食べたいものだけでいいのかな？
- ・考えたメニューを栄養士の先生に見せよう！

給食ではどんなことに気を付けてメニューを考えているのかな？（3）

- ・栄養・安全・衛生

家庭と給食のこだわりを比べてみよう！（4）

- ・一番のこだわりはね…。
- ・家庭でのこだわりもそれぞれあるね

「食」に関してどんな問題があるのかな？（15）

- ・どれも身近な問題だね
- ・どうして添加物を使うの？
- ・それぞれの立場があるんだね。

学習したことを発信しよう！（5）

添加物が多く含まれているものがあることに気付かせるため、数種類のソーセージを試食しました。

食に関する問題に興味をもつた子供たちですが、実際に食べてみることで、思いが揺れています。よりより消費者とは何かを考えるきっかけとなります。



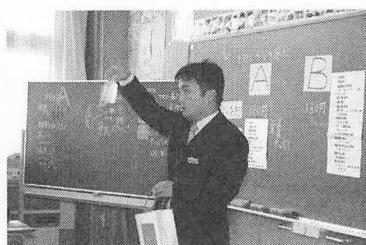
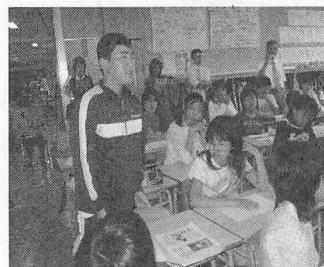
食べるってどういうこと？

教材・活動の Point!



2. 給食と家の食事のこだわりを比べる

給食のメニューにはこだわり（栄養・衛生など）があることに気付いた子供たちは「家の食事は……」と考えました。給食よりも多くのこだわりが各家庭にあることを知り、食事に対する感謝の気持ちをもつことにもつながりました。



3. 種類の違うソーセージを試食させる

「安全にこだわりたい」と考えていた子どもたちに、「安いけど添加物が多い」「おいしいけど高くて油が多い」「無添加だけど高い」の3種類のソーセージを試食させました。どれも一長一短であることが、考えを揺さぶる手立てになりました。